

アマテラスひとイツキヨミことスサノオウ

アマゾン電子書籍 Kindle版
オンデマンド（ペーパーバック） 1234円
著者 柴山 鳥人

大倭国（やまとのくに）の歴史が倒語（さかしまごと）の解説により蘇る。
東征前は古事記のイザナミの国生み神話の復元を起点にして、東征後は日本書紀の応神天皇8年（西暦277年、丁酉）を百済阿華王6年（西暦397年、丁酉）と同年の春分から秋分とした春秋半年暦の復元を起点にして、大倭国の歴史は復元できる。
イザナギの左目より出たアマテラス日の神・天照大神を祀る右目より出たイツキヨミ・斎の宮が鼻より出たスサノオ・荒の王に統治を任せる面土国が大倭国の始まり。

アマテラスひと イツキヨミこと スサノオウ

国生み神話の復元を起点に
古事記と日本書紀から復元した

やまとのくに

大倭国の始まり



……柴山 鳥人

三種の神器の鏡は日の神を、勾玉は斎の宮を、剣は荒の王を象徴する。